

長岡京まちづくり通信 第1号

～ともに創ろう！輝くまちへ～

(すみさきつとむ)

発行責任者：炭 崎 勉

長岡京市のこれからの5年間の基本計画を策定する審議会が始まりました。
(令和8年度から令和12年度)第3期基本計画



第2期基本計画冊子の表紙から

私、炭崎勉(すみさきつとむ)は、長岡京市の令和8年度から5年間の基本計画を策定する長岡京市総合計画審議会に公募委員として参画しています。

この計画は、市の将来像「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」を目指す15年間の「基本構想」のうち最終の5年間の計画を第3期「基本計画」として定めるものです。我々市民の暮らしにもおおいに関わるため、審議内容をこの紙面で紹介させていただきたいと思います。

15年間の「基本構想」のもとに5年ごとの「基本計画」と具体的な施策を示す「実施計画」が定められ、これらはまとめて「総合計画」と呼ばれます。「総合計画」は市の計画の中でも最上位に位置するもので、市の政策の基本方針を定めるものと言えます。

現在の総合計画は、平成27年度に定められ、令和7年度は、15年にわたる基本構想期間の10年目に当たります。そこで次の5年間の計画を第3期基本計画として策定する必要があるため、審議会での議論が昨年11月から始まっています。

今後、基本計画は素案がまとめられ、意見募集が行われます。皆さんのご意見も反映させましょう！

ごあいさつ

愛着のあるこの長岡京市をより一層輝くまちへと育てるため、京都市役所での行政経験と1級建築士としての専門性を活かして、私なりの取組みを始めたいと考えています。一人でできることは限られていますが、子どもから高齢者まで様々な世代を通して、市民が主役のまちづくりを進められるよう縁の下の力持ちでありたいと願います。

プロフィール

横浜国立大学卒業、同大学院修了(都市計画研究室)
元京都市中京区副区長、東京事務所次長ほか
1級建築士、マンション管理士
長岡京市今里に住んでいます

第1回審議会の主な意見

- 計画の体系が複雑なので、ビジュアルでわかりやすく示すなど工夫してほしい
- 前期の基本計画で一部未達成の事業について説明がほしい
- 基本計画の組立て方が「分野」の下に「施策」がぶら下がり、縦割りになっているが、横のつながりも意識する必要がある
- 市民アンケートの回答が高齢の方に偏る傾向にあるので、LINEなど別のツールの活用にも期待する

第2回審議会の主な意見

- 令和7年度末の達成見込みが低い各事業について、事務局が状況説明
 - ・地域学校協働推進事業
 - ・たすけあいとつながり事業
 - ・交通安全施設整備事業 など
- 団体アンケートのウェブ回答の率が意外に低い、改善の検討を
- 基本計画の分野別概況について
 - ・高齢者対応の新たな仕組みや制度、市民参加を促す目標の設定などについて検討してほしい
 - ・シルバー人材の活用も必要
 - ・空き家や人口動態等で特徴的な動きは、図表に注記がほしい
 - ・交通事故やまちの安全について、他都市との比較など示してもらいたい
 - ・コミュニティ再生のアイデアの検討を
 - ・スポーツと文化を統合する考え方も必要

